

あてつまんさく

新見の農業情報

普及だより 2022年



備中県民局 農林水産事業部
新見農業普及指導センター

目 次

1. 担い手確保と育成

- (1) 令和5年10月1日にインボイス制度がスタートします 1
- (2) 新規就農者確保に向けてPRを強化 2

2. 技術の情報

- (1) 被覆肥料の被膜殻の流出防止対策実証 2
- (2) 水稻湛水直播に「リゾケアXL」を活用 3
- (3) 夏秋トマトの葉先枯れ症低減実証 4
- (4) 底面給水育苗でいちご苗の安定生産 4
- (5) 植調剤の満開期1回処理でシャインマスカットの熟期を促進 5
- (6) 岡山県オリジナルりんどう極早生品種の生産性向上 5

3. 普及活動の紹介

- (1) 新見農業士会交流研修会 6
- (2) 新見ぶどう産地の将来を考える会 産地維持に向けた取り組みを確認 6
- (3) 新見産の赤い桃のお酒「桃赤」が発売 7

4. その他の活動

- (1) 6次産業化商品をPRするためのPOP&トークを学ぶ 7
- (2) 和牛のオリンピックで上位入賞 8

5. 今年輝いた人

- (1) 第55回 岡山県農林漁業功労者表彰 9
- (2) 第12回 全国和牛能力共進会 9
- (3) 第61回 岡山県枝肉共進会 9
- (4) 令和4年度 JA晴れの国岡山りんどう共進会 10
- (5) 令和4年度 新見市花卉共進会 10
- (6) 令和4年度 岡山県ピオーネ・オーロラブラック共進会 11
- (7) 令和4年度 新見市ピオーネ共励会 11
- (8) 令和4年度 新見市桃共励会 11

表 紙 写 真

左 上：就農準備講座りんどうコース 右 上：新見市ピオーネ共励会

左 下：JA収穫感謝祭 右 下：就農準備講座トマトコース

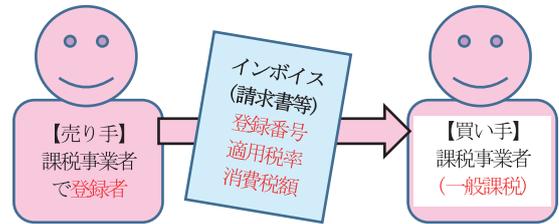
■ 1 担い手の確保と育成

(1) 令和5年10月1日にインボイス制度がスタートします

1 インボイス制度について

インボイス制度は、消費税の計算及び申告に係る制度です。インボイスとは、税務署に登録した登録番号を記載した『適格請求書等（領収書・レシートも含まれます）』のことを意味します。

インボイス制度は、消費税課税事業者に関係がありますが、免税事業者でも、取引先や取引状況によっては関係してきます。



2 消費税の申告と計算方法について

消費税の申告は、課税事業者（課税売上額 1,000 万円以上）と免税事業者（課税売上額 1,000 万円未満）に分かれます。また、消費税の計算方法は、原則的に一般課税ですが、課税売上額が 5,000 万円未満の事業者は簡易課税が選べます。

課税方式	消費税の計算方法
一般課税	納税額 = 課税売上の消費税額 - 課税仕入の消費税額 (仕入税額控除※1)
簡易課税	納税額 = 課税売上の消費税額 - (課税売上の消費税額 × みなし仕入率※2)
免税	消費税は申告しないので、計算しません。

※1 仕入税額控除…売上の消費税額と仕入の消費税額を集計し、差し引くことです。

※2 みなし仕入率…業種ごとの定められた仕入率で、仕入の消費税額を算出します。

3 インボイス（適格請求書等）の保存の必要性

区分	保存	理由
一般課税事業者	必要	適格請求書等の保存が仕入税額控除の要件であるため、必要です。
簡易課税事業者	不要	仕入税額控除をしないで、みなし仕入率で計算するため、必要としません。
免税事業者	不要	消費税は計算しないので、不要です。

4 インボイス（適格請求書等）の発行（登録された課税事業者だけが発行できます。）

区分	発行	方法
一般課税事業者	可	税務署に届出て登録できます。登録すれば売り先からの要望により発行できます。
簡易課税事業者	可	税務署に届出て登録できます。登録すれば売り先からの要望により発行できます。
免税事業者	不可	免税事業者のままでは登録できませんが、課税事業者になれば登録できます。登録した場合は、登録した時点から免税でなくなり、課税対象となります。

5 インボイス制度への対応

インボイス制度には、農協特例、卸売市場特例など交付義務免除の特例措置があります。例えば、農協へ販売委託した場合は、農協の発行するインボイスで買い手が仕入税額控除ができますので、各自がインボイスを発行する必要はありません。

特に免税事業者は、登録すると課税事業者となりますので、登録するか否かは、売り先とよく相談して慎重に検討してください。

(2) 新規就農者確保に向けてPRを強化

新見地域では、コロナ禍以降、県内・県外を問わず相談会を訪れる就農希望者が減少しており、新規就農につながる希望者の確保が喫緊の課題となっています。そこで、今年度は地元メディアのCMやYouTubeを活用したPRを強化しています。

CMは先輩就農者や農業実務研修生が出演し、「新見で農業をやりたい」と呼びかける内容で、視聴率の高いニュースの時間帯に10月の約1か月間放映しており、1～2月にも就農希望者や就農準備講座生の募集CMを放映する予定です。

また、YouTubeで全国向けに新規就農者募集のPR動画の配信も行っており、CMや動画配信によって地元から全国にかけて就農希望者の掘起こしを強化し、新見での就農相談者の増加、新規就農者の確保につなげていく計画です。



放映したCMのカット1



新規就農者募集!
 新見農業普及指導センター 新見市 農業畜産振興課
 電話 0867-72-9177 電話 0867-72-6133
 JA晴れの国岡山新見広域営農経済センター
 電話 0867-72-3134

放映したCMのカット2

2 技術の情報

(1) 被覆肥料の被膜殻の流出防止対策実証

プラスチック等の被膜でコーティングされた被覆肥料については、肥料成分が溶出した後、被膜殻が河川や海洋等へ流出することによる環境汚染が懸念されています。そこで被覆肥料の被膜殻流出防止対策実証ほを設置し、代替肥料の効果等について実証しました。

結果としては、実証区（硫黄コート肥料「環境保全型水稲一発211」）と慣行区（登熟一番20W）の収量は同等でしたが、両区とも倒伏しました（表1）。今年は気温が高く、特に、梅雨入り（6/14）から幼穂形成期（7/10頃）までの期間の気温はかなり高く推移しており、肥料の溶出が早まったため分げつ過剰となり倒伏したものと思われ、注意が必要です。

プラスチック等の被膜でコーティングされた被覆肥料の代替肥料への期待は大きく、今後も、被膜殻の流出防止対策試験は継続していく予定です。

表1 収量調査結果

区分	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	倒伏 (0~4)	乾わら重 (kg/10a)	粗粒重 (kg/10a)	粗玄米重 (kg/10a)	精玄米重 (kg/10a)	着粒数 (粒/穂)	登熟歩合 %	千粒重	食味値(レコ) HON×100
実証区	95	18.6	431	4	763	805	616	551	83	72	21.4	83
慣行区	95	17.1	447	3	697	779	605	550	72	78	21.8	90



実証区の出穂期の様子

左写真：実証区

右写真：慣行区

(2) 水稲湛水直播に「リゾケアXL」を活用

「水稲湛水直播栽培」は春の忙しい育苗作業を省略し、種もみを直接ほ場に播種する省力化技術です。これまでの鉄コーティング湛水直播栽培でも、鳥の食害に一定の効果がありましたが、発芽を安定させるため、播種後に細かい水管理が必要で、手間がかかるうえに雑草が生えやすいという問題を抱えていました。

そこで、酸素供給剤等の農薬でコーティングした種もみ「リゾケアXL」を活用し、前述の問題の解決を図りました。「リゾケアXL」は酸素供給剤の効果により、播種後でも発芽率を落とすことなく湛水状態を保つことが可能です。そのため、雑草の抑制効果が高く、水管理が楽になるほか、土中に播種することで鳥害を防ぎます。

5月8日に「リゾケアXL」をドローン、動力散布機、湛水直播機の3方法で各ほ場に播種し、途中の生育や収量、労働時間等について慣行の移植栽培と比較しました。



ドローン



動力散布機



湛水直播機

結果としては、「リゾケアXL」を播種した3ほ場の生育や収量は移植栽培のほ場と同等（データ省略）で、生育途中の鳥害や発芽不良、雑草の発生もほとんどなく、「リゾケアXL」を活用したことで栽培の安定化が図られました。また、「リゾケアXL」を播種した3ほ場の労働時間は移植栽培と比較して大幅に短縮されており（図1）、省力・軽労化が図られました。

ほ場の管理者からは「育苗作業が省略できるのは楽で嬉しい。途中の生育も安定していたため、来年度以降も取り組んでいきたい」との言葉が聞かれています。今後も、「リゾケアXL」を活用した試験を継続していく予定です。

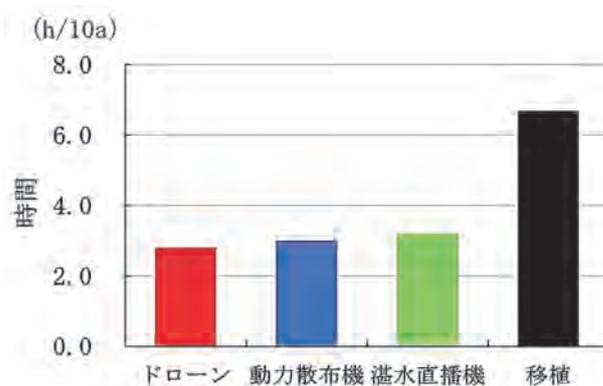
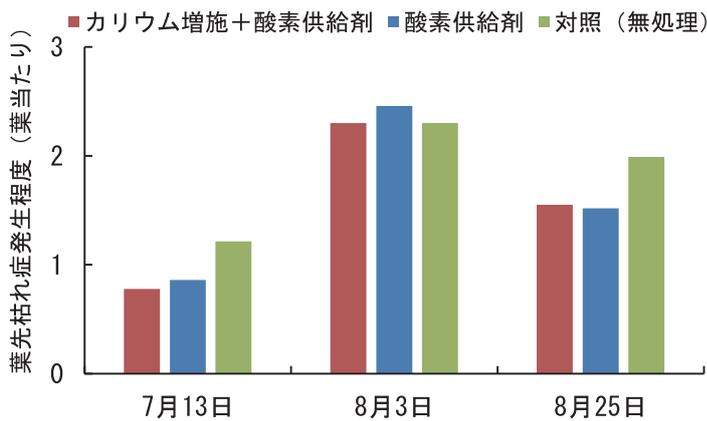


図1 栽培初期（直播・移植まで）の労働時間

(3) 夏秋トマトの葉先枯れ症低減実証

トマトの葉先枯れ症は、発症部位が灰色かび病の発生源となるため、栽培上の大きな課題となっています。令和3年度の実態調査で、葉先枯れ症の発生が多いほ場では土壌や肥料からのカリウムの供給量が少ない傾向がありました。

そこで、対策技術として、基肥でのカリウム増施、また、根張りを良くし、カリウムの吸収を促すことを目的に酸素供給剤を施用し、葉先枯れ症の低減効果を検討しました。その結果、酸素供給剤の施用により、7/13、8/25の葉先枯れ症が低減されました。また、8/3について、対照（無処理）より着果量が多い（データ省略）にもかかわらず、葉先枯れ症の発生は同程度であったことから、酸素供給剤の有効性が確認できました。普及指導センターは今後もトマトの安定生産に向けた技術の実証を続けていきます。



葉先枯れ症

※程度1：わずかに認められる～程度3：先端から1/4に認められる

図1 各調査日の葉先枯れ症発生程度の違い

(4) 底面給水育苗でいちご苗の安定生産

令和元年10月に新見市いちご研究会が「岡山S T B 1号」の利用に係る許諾を県から受け、種苗（親株）を生産、県内の生産者に販売しています。そこで、良質な苗の安定生産と供給のために、底面給水システム（愛媛農水研方式）（図1）を活用した育苗を実証しました。結果、炭疽病、疫病の発生は見られず、土壌水分も適湿に保たれ良質な苗が生産できました（表1、図3）。

「岡山S T B 1号」は、岡山県農林水産総合センター農業研究所で県内の高冷地向けに育成された、6～11月に収穫でき、夏場でも大きい果実が収穫できる耐暑性の強い四季成り性品種です。栽培に興味がある方は、普及指導センターまでお問い合わせください。

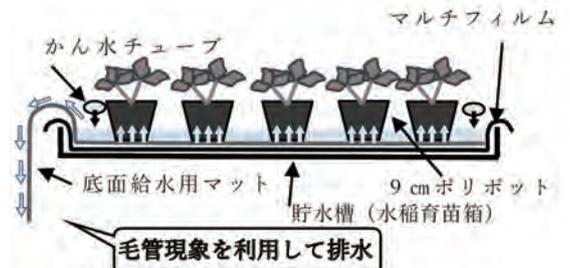


図1 底面給水システム



図2 採苗(受け苗)

表1 苗調査 (9cmポリポット)

採苗時期	クラウン径 (mm)		葉長 (cm)
	長径	短径	
6/1～			
8/31	6.7	5.7	15.5

令和4年10月11日調査

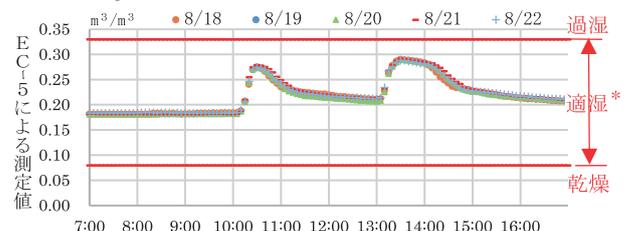


図3 土壌水分の推移 (8/18～8/22)

注) 令和2年度試験研究主要成果 (岡山県) の適湿範囲を参考にした。

(5) 植調剤の満開期1回処理でシャインマスカットの熟期を促進

北部の冷涼な地域では、秋期の日照不足等により糖度上昇が遅れる年があります。そこで、慣行の無核肥大2回処理（満開期にジベレリン (GA) 25ppm + フルメット (F) 5 ppm 及び満開10～15日後に GA25ppm）よりも糖度上昇が優れるという報告がある、満開期1回処理（満開期にGA25ppm+F10ppm）と花穂発育処理（展葉6～8枚期にフルメット1～2 ppm）について検討しました。

豊永、大佐の2地区の実証で、満開期1回処理では果粒が0.7～2 g小さくなるものの、糖度がスムーズに上昇し、成熟が早まりました（表1）。大佐地区でも十分に糖度が上昇し、降霜前に収穫できたことから、特に冷涼な地域では有効な方法であると分かりました。

表1 肥大処理の違いによる果実品質への影響

処理区	花穂発育処理	無核肥大処理		収穫日 (月/日)	果房重 (g)	果粒重 (g)	糖度 (° Brix)
		満開期	満開10～14日後				
A1 処理区(豊永)	F2ppm	GA25ppm+F10ppm	—	10/18	540	12.4	18.7
A2 慣行区(豊永)	—	GA25ppm+F5ppm	GA25ppm	10/18	699	14.4	18.0
B1 処理区(大佐)	F2ppm	GA25ppm+F10ppm	—	10/20	597	12.6	18.6
B2 慣行区(大佐)	—	GA25ppm+F5ppm	GA25ppm	10/20	648	13.3	16.6



(6) 岡山県オリジナルりんどう極早生品種の生産性向上

一般的にりんどうの極早生品種は、6月に開花し、単価も比較的高いことから栽培が増えています。しかし、定植2年目の収穫本数が少ないことが問題となっており、県のオリジナル極早生品種「RND4号」にも同様の問題があります。

そこで、通常は1セルに1株の苗（以下、1株苗）を定植するところ、1セルに2株の苗（以下、2株苗）を定植することで、種苗費はそのままです。収穫本数増加を目指しました。



「RND4号」の開花風景

定植2年目の初収穫では、茎数が増加することで収穫本数が1株苗と比較し2株苗で約2割増加し、切り花品質に大きな差はありませんでした。

この結果を踏まえ、「RND4号」の令和5年度定植苗から2株苗の販売が始まる予定です。

表1 1セルあたりの株数が品質、茎数に及ぼす影響

苗	草丈	花段数	茎数/1カ所
2株苗	7.6 cm	4.0段	5.9本
1株苗	7.6 cm	4.1段	4.6本



2株苗



1株苗 (慣行)

■ 3 普及活動の紹介

(1) 新見農業士会交流研修会

新見農業士会（会員 12 名）は、10 月 28 日、相互訪問により新見地域の農業や経営概要を見学する交流研修会を開催しました。

令和 3 年度に認定された新任農業士を含む 3 戸を訪問し、経営の特徴や工夫点等の説明と併せてほ場を見学しました。新任農業士 2 名は、他県からの新規就農でトマト栽培を始め、土づくりや新品種の導入を図り経営を確立してきた経過や安心安全なトマトづくりへの取組、果樹（ぶどう、柿）と花木（しきみ）の複合経営で柿の加工にも取り組み、農繁期の作業分散と年間を通じた出荷体系による安定した経営を紹介されました。

また、意見交換会では参加者 8 名が経営状況を紹介するとともに、新見農業士会の今後の活動や運営に向けた意見交換を行いました。



トマトほ場を見学



6 次産業化商品(干し柿)を背景に記念撮影

(2) 新見ぶどう産地の将来を考える会 産地維持に向けた取り組みを確認

新見ぶどう産地の将来を考える会（以下、考える会）は 4 月 26 日、豊永市民センターで、ぶどう生産者 4 人を含む県、市及び J A 等の関係者 19 人が集まり、新見市が進めているぶどう団地の造成や新規就農者の確保・育成について意見交換しました。

市からぶどう団地（6 区画、2.4ha）の造成は令和 4 年度中の完成を目指し、令和 6 年度から新規参入者を受け入れするスケジュールが示されました。生産者、J A からは「用地も大事だが人の確保が重要。居住施設の確保・提供も必須」との考えがあらためて示されました。

また、普及指導センター等が行う就農相談では、ぶどう農家がリモートで参加することや、豊永地区の生産者が空き家を調査し、今後就農希望者等の居住施設の問い合わせに迅速に対応できるよう準備を進めていることが紹介されるなど、関係者が一丸となって新規就農者の呼び込み強化に向け、取り組むことを確認しました。

12 月 2 日には、考える会の構成メンバーが、移住を希望する方と空き家の持ち主さんとの「橋渡し」に取り組む久米南町山手地区の事例を調査し、ぶどう園地と居住地との一体的な確保・整備の必要性をあらためて再認識しました。



産地の将来を考え、積極的に意見交換

(3) 新見産の赤い桃のお酒『桃赤』^{ももか}が発売

普及指導センターがJA阿新桃部会、JA晴れの国岡山新見、新見市と協働で開発したお酒『桃赤』の販売が始まりました。『桃赤』はイベントや直売所での販売を通じた産地の知名度向上を目的に出荷規格品の桃を活用し、地元酒造メーカー「三光正宗」とコラボし、製造しました。アンケートなどで消費者ニーズを踏まえた商品開発に令和3年から取り組み、商品名の『桃赤』は新見市民を対象とした公募によって決定しました。今後もラジオや新聞、イベントなどで『桃赤』を活用した産地のPR活動を展開します。



新商品の『桃赤』



JA収穫感謝祭での「桃赤」先行販売

■ 4 その他の活動

(1) 6次産業化商品をPRするためのPOP&トークを学ぶ

12月6日、「備北6次産業化研修会」を開催しました。

6次産業化に取り組む新見市内の事業者ら14名が参加し、各自持参した6次化商品のお勧めポイントを考え、お客様がその商品を欲しいと思うPOPの作成や接客トークの方法について、接客心理アナリストの岩田朱実氏を講師に、講義と実習で学びました。人は理由が分かると納得する、五感を刺激する言葉を使う、など心理効果を活用し、参加者はそれぞれPOP作成に取り組みました。



POP作成のポイントを学ぶ受講生

また、SNSを活用した商品PRについて、三分割構図や三角構図などWEB上で効果的に見える写真の撮り方や、検索キーワードの考え方なども学習しました。

参加者からは「お客様目線が大事ということが分かった」「POPの構図がとても参考になった」と好評でした。

(2) 和牛のオリンピックで上位入賞

1 全国和牛能力共進会の概要

「第12回全国和牛能力共進会（以下、「全共」）」が10月6～11日に鹿児島県霧島市及び南九州市で開催されました。

全共は5年に一度開催され、和牛のオリンピックといわれています。全共の成績は、和牛ブランドの市場価値に直結するため、地域の威信を懸けた挑戦となります。

今大会は41道府県から438頭が集まり、雄牛、雌牛の体型の良さなど改良の成果を審査する「種牛」、枝肉の状態や脂肪交雑などの肉質を審査する「肉牛」、「高校及び農業大学校」の3部門で優劣を競いました。

2 千屋牛の挑戦の成果

平成30年に、JA阿新（現JA晴れの国岡山（新見））を中心に約300頭の優秀な母牛を探し、令和2年から、計画的に人工授精や凍結保存していた受精卵の移植を行い、候補牛を作出しました。令和3年から地域内で選抜を重ね、県の最終選抜会（令和4年7月29日）で全共出品牛が決定しました（表1）。

出品者のみなさんは、目指す体型に近づけるよう、日々の飼養管理に努められました。

また、牛の立ち姿や歩行時の足腰の強さ等も審査対象となるため、牛の姿勢を保ちながら自在に制御できるよう、毎日、牛を追って近所の坂道や田畑を歩かせ鍛えました。

その努力が実り、本番では審査の間、理想の姿勢をしっかりと維持し、最高のパフォーマンスを発揮しました。

中でも、特別区（高校及び農業大学校の部）に出場した県立新見高等学校が伝統の調教技術や雌牛らしい品位の高さをアピールし、中国四国でトップとなる優等賞4席に輝き、千屋牛の名声を響き渡らせました。

3 さらになる挑戦

次回全共は、令和9年に北海道で開催されます。今回の受賞を糧に千屋牛の担い手が育ち、次回も勇姿が見られることを楽しみにしています。

表1 第12回全国和牛能力共進会见出品牛成績

出品部・区分		名号	受賞内容	
種牛	第1区	若雄	珠波光	優等賞 8席
	第6区	総合 評価群	はんえい81	1等賞 2席
			むねはつひめ9	
			きよたま314	
	いくら70			
肉牛	第8区	去勢 肥育牛	哲多全共1	2等賞
高校及び農業大学校			いろは	優等賞 4席



優等賞4席を受賞した県立新見高校

■5 今年輝いた人

※敬称は省略させていただいております。

(1) 第55回 岡山県農林漁業功労者表彰

◎岡山県知事表彰（農産部門） 加藤 完二（哲西）

(2) 第12回 全国和牛能力共進会

令和4年10月6～11日、鹿児島県霧島市及び南九州市で開催されました。全国から種牛の部248頭、肉牛の部166頭、高校及び農業大学の特別区に24頭が出品されました。

◎第1区(若雄) 優等賞8席 珠波光 柴田 武(大佐)

◎第6区(総合評価群 種牛の部) 1等賞2席

はんえい81 小川 武昭(哲西)

むねはつひめ9 上田 稔(哲西)

(牛所有者：JA晴れの国岡山)

きよたま314 江田 英明(哲多)

いくら70 JA晴れの国岡山 井倉牧場(井倉)

◎第8区(去勢肥育牛) 2等賞

哲多全共1 (有)哲多和牛牧場(哲多)

◎特別区(高校及び農業大学の部) 優等賞4席

いろは 県立新見高等学校(新見)

(3) 第61回 岡山県枝肉共進会

令和4年12月1日、岡山県営食肉地方卸売市場で開催されました。県内各地から和牛70点、肉豚30セットが出品されました。

◎第1部(和牛去勢の部) 最優秀賞7席 (有)哲多和牛牧場(哲多)

最優秀賞9席 (有)哲多和牛牧場(哲多)

優秀賞首席

JA晴れの国岡山 千屋肥育センター(千屋)

◎第2部(和牛雌の部) 最優秀賞4席

峠田 一也(千屋)

優秀賞首席

JA晴れの国岡山 千屋肥育センター(千屋)

脂肪の質賞 JA晴れの国岡山 田淵牧場(哲多)

◎第3部(肉豚の部) 最優秀賞首席

岡山JA畜産(株)吉備農場(哲多)

最優秀賞4席

岡山JA畜産(株)荒戸山SPF農場(哲多)

最優秀賞5席

岡山JA畜産(株)吉備農場(哲多)

優秀賞首席

岡山JA畜産(株)荒戸山SPF農場(哲多)

(4) 令和4年度 JA晴れの国岡山リンドウ共進会

令和4年7月21日にJA晴れの国岡山山手支店で開催され、リンドウ22点の出品がありました。JA晴れの国岡山新見統括本部からは15点の出品がありました。

◎最優秀賞 岡山県知事賞

りんどう「しなの早生」 池川 博泰 (哲多)

◎優秀賞 岡山県農業協同組合中央会長賞

りんどう「しなの早生」 奥山 亮 (哲多)

晴れの国岡山農業協同組合組合長賞

りんどう「しなの早生」 山本 誠 (哲多)

(5) 令和4年度 新見市花卉共進会

令和4年9月13日にJA晴れの国岡山Aコープあしん店生活センターホールで開催され、22点(りんどう17点、小ぎく5点)の出品がありました。

◎最優秀賞 新見市長賞

りんどう「しなの4号」 山本 誠 (哲多)

◎優秀賞 備中県民局長賞

りんどう「しなの3号」 奥山 亮 (哲多)

備中県民局農林水産事業部長賞

りんどう「しなの3号」 安田 毅 (哲西)

岡山県農業協同組合中央会長賞

りんどう「ハイジラブ3」 田辺 薫明 (神郷)

全国農業協同組合連合会岡山県本部長賞

りんどう「ブルーオーシャン」 三好 充 (哲西)

小ぎく「口紅」 谷村 悦子 (新見)

(6) 令和4年度 岡山県ピオーネ・オーロラブラック共進会

令和4年7月20日、8月31日、9月28日に作型に合わせて開催され、ピオーネ113点、オーロラブラック25点の出品がありました。JA晴れの国岡山新見統括本部阿新ぶどう部会からはピオーネ15点、オーロラブラック2点の出品がありました。

【ピオーネの部】

◎農林水産大臣賞		藤野 幸一 (足見)
◎岡山県農業協同組合中央会長賞		山田 憲次 (足見)
◎うまいくだものづくり推進本部長賞	優秀賞	清原 保 (豊永)
	〃	米谷 信義 (豊永)
	〃	古川 大輔 (草間)
	〃	吉岡 清悟 (豊永)

【オーロラブラックの部】

◎うまいくだものづくり推進本部長賞	奨励賞	清原 保 (豊永)
-------------------	-----	-----------

【新人賞】

◎(公財)岡山県農林漁業担い手育成財団理事長賞		山田 憲次 (足見)
-------------------------	--	------------

(7) 令和4年度 新見市ピオーネ共励会

令和4年9月22日にJA晴れの国岡山Aコープあしん店生活センターホールで開催され、53点の出品がありました。平均果粒重は20.2g(最高24.3g)、平均糖度は18.4度(最高20.0度)、平均果皮色はカラーチャート8.9でした。

◎最優秀賞	岡山県知事賞	田中 邦男 (豊永)
◎優秀賞	新見市長賞	安達 正行 (哲多)
	岡山県備中県民局農林水産事業部長賞	杉 才子 (豊永)
	岡山県農業協同組合中央会長賞	森政 昇 (豊永)
	全国農業協同組合連合会岡山県本部長賞	吉岡 清悟 (豊永)
	岡山県農業共済組合長賞	植田 正二 (豊永)

(8) 令和4年度 新見市桃共励会

令和4年7月26日にJA晴れの国岡山Aコープあしん店生活センターホールで開催され、25点の出品がありました。平均糖度は11.7度、最高糖度は17.6度で、食味は全体的に良好でした。

◎最優秀賞	新見市長賞	長岡 一郎 (草間)
◎優秀賞	岡山県備中県民局長賞	吉川 岩夫 (草間)
	岡山県備中県民局農林水産事業部長賞	藤井 敏夫 (草間)
	岡山県農業協同組合中央会長賞	小川 晴夫 (草間)
	全国農業協同組合連合会岡山県本部長賞	藤原 健雄 (草間)

新見の主な農畜産物



ホームページ
QRコード



Facebook
QRコード

岡山県備中県民局農林水産事業部
新見農業普及指導センター
〒718-0003 岡山県新見市高尾2400
担い手・農産班 TEL (0867) 72-9177
園芸班 TEL (0867) 72-9179
FAX (0867) 72-0495
e-mail: niimi-fukyu@pref.okayama.lg.jp
ホームページ: